



河越 安実治 議員

高島市における空き家の現状と今後の対策について

問

空き家解消に向けてマニュアルや説明資料の作成を考えてはどうか

答

所有者の方にとっても、近隣のご相談者にとってもわかりやすい資料は必要だと思いますので、今後作成に向けて検討してまいります

問

高島市における空き家の現状と今後の予測について。

答

市民生活部長

市が5年ごとに実施している「空き家等実態調査」では、減少傾向ではありますが、当市における人口減少、少子化の状況を踏まえ、令和8年度に実施予定の次期調査では増加に転じることが予測されます。

問

空き家紹介システムに登録され紹介できる物件数は、ニーズに答えられる物件数なのか。

答

市民生活部長

令和5年度末現在で累計272件の物件を登録し、147件が成約に至っている状況です。しかし、「空き家等実態調査」において活用可能な状態であると考えられる物件数は901件であることを考えますと、当該システムへの登録件数は少なく、ニーズにお答えできる物件が十分に足りているとは言えない状況にあると認識しています。

問

未然防止もしくは空き家の有効活用というところの具体的な取り組みは。

答

市長

この問題は高島市だけではなく、国全体の課題であると認識をされております。特定空家に指定をされると、固定資産税の特例が解除され、土地に対する固定資産税が本来の正規の課税対象にされるという制度があります。しかし、特定空家にのみ適用されていることから、国としてはなかなか進まない我が国の空き家の課題解決に向けて、法律改

問

空き家解消に向けてマニュアルや説明資料の作成を考えてはどうか。

答

市民生活部長

所有者の方にとっても、近隣のご相談者にとってもわかりやすい資料は必要だと思いますので、今後作成に向けて検討してまいります。